

「SUZUKA "S耐" サバイバル」

今回はその名の通り「サバイバル」厳しい予選通過枠とセカンドチャンスレースの組合せでかなりの台数がふるいにかけられます。



6月10日金曜日 公式練習

朝一の枠からセットアップと燃費を確認しながら煮詰めていきクラス3位のタイム。夕方からの枠ではクラス2位のタイムで明日の予選に向けて順調な仕上がります。

6月11日土曜日 公式予選日

クラス3位までに入れないと予選レースに参加となります。まずはAドライバーの村上がコースイン。が、コースインしてそのまま1コーナー脇でマシントラブルでストップ。再スタートしますがまたストップ。しばらくして走り出し2分32秒40のコースレコードで走りますがライバルはの上を行ってたので再アタックするもデグナー2で電子制御トラブルでコースアウト。ピット作業で応急処置してBドライバーの筒井も何とか走りますがGTウイングが破損してバランスが崩れ合算タイムでクラス6番手。午後からのセカンドチャンス100の予選では筒井選手が序盤にトップになるとそのまま危なげないレース運びで村上から脇谷につなぎクラス4位で日曜の決勝に挑みます。

6月12日土曜日 決勝

決勝の朝は雨。午後からも微妙な天候になります。給油装置のエラーもありあまり早く給油が出来ない状況もあり厳しい展開が予想されます。そんな中、レインタイヤを選択してレーススタート。が、これが見事に外れて5周目に緊急ピットインでタイヤ交換。そして脇谷から筒井選手にドライバー交代時にもう1度レインタイヤに交換。後半の2時間は村上がドライブしますが雨が強くなりペースが上がらない。それでも我慢のレースでクラス6位を走行しながら無線から「この周でチェッカーです」と無線が入った直後にエンジンが止まり、そのままコース脇にストップ。どうすることも出来ずリタイヤになりました。



総括 チームオーナー村上

予選からトラブル続きで流れが悪い中、何とか完走しようと頑張りましたが最後に電気系トラブルで無念のリタイヤとなりました。

今回のレースでたくさんの課題が見つかりましたので次回の富士ラウンドでは必ず表彰台に乗れる様にしっかり準備していきますので応援よろしくお願いします。